

神戸市立医療センター整形外科専門研修プログラム

(1) 理念と使命

神戸市立医療センター中央市民病院、神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立西神戸医療センターで構成される地方独立行政法人神戸市民病院機構は、神戸市の基幹病院群として市民の生命と健康を守るため、患者中心の質の高い医療を安全に提供することを基本理念としています。これら3病院のうち、神戸市立医療センター中央市民病院は主要基幹病院としての機能を果たすために高度・先進医療に取り組むとともに、24時間体制で救急医療を実践しています。「神戸市立医療センター整形外科専門研修プログラム」では神戸市立医療センター中央市民病院が基幹施設となり、他の2病院が連携施設となります。これら3病院に加えて、独立行政法人国立病院機構姫路医療センター、兵庫県立尼崎総合医療センター、公立豊岡病院組合立豊岡病院、社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院、公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院、関西電力病院、大阪府済生会野江病院、京都大学が連携施設として本プログラムに参加します。整形外科専門医には、国民の皆様に質の高い運動器医療を提供することが求められています。このため整形外科専門医制度は、医師として必要な臨床能力および運動器疾患全般に関して、基本的・応用的・実践能力を備えた医師を育成し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献することを理念とします。

「神戸市立医療センター整形外科専門研修プログラム」を通じて、自ら学び、多元的な課題の解決に挑戦し、周囲と調和して医療、医学の発展に貢献できるプロフェッショナルな整形外科専門医の育成を行います。

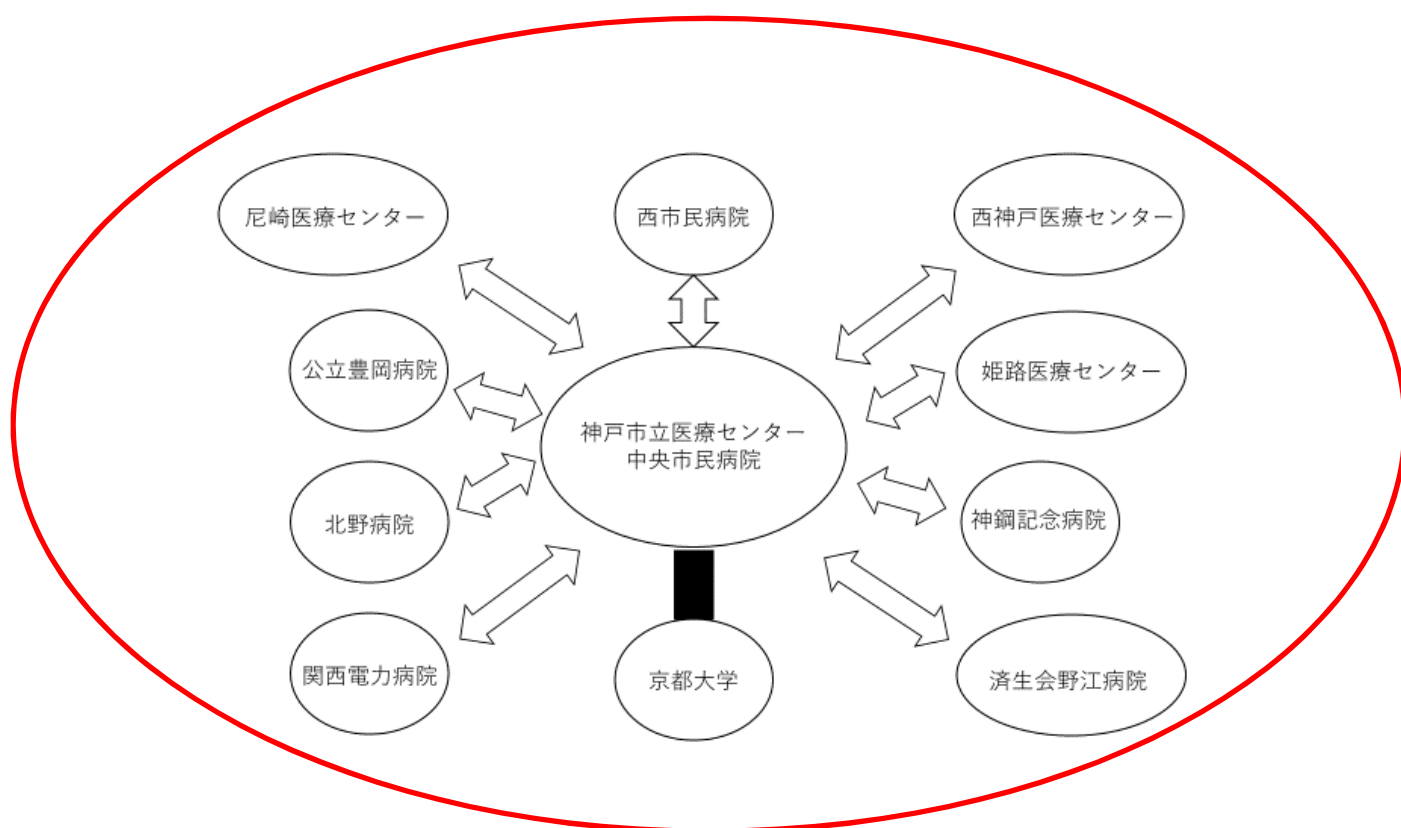
整形外科専門医は、全ての運動器に関する科学的知識と高い社会的倫理観を備え、進歩する医学の新しい知識と技術の修得に日々邁進し、運動器に関わる疾患の病態を正しく把握し、高い診療実践能力を有する医師でなければなりません。整形外科専門医は、生活習慣や災害、スポーツ活動によって発生する運動器疾患と障害の発生予防と診療に関する能力を備え、社会が求める最新の医療を提供し、国民の運動器の健全な発育と健康維持に貢献する使命があります。整形外科専門医には、運動器疾患全般に関して、早期診断、保存的および手術的治療ならびにリハビリテーション治療などを実行できる能力を備え、運動器疾患に関する良質かつ安全で心のこもった医療を提供する使命があります。

（２）神戸市立医療センター整形外科専門研修プログラムの特徴

基幹施設：神戸市立医療センター中央市民病院

連携施設：

神戸市立医療センター西市民病院、神戸市立西神戸医療センター、独立行政法人国立病院機構姫路医療センター、兵庫県立尼崎総合医療センター、公立豊岡病院組合立豊岡病院、社会医療法人神鋼記念会神鋼記念病院、公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院、関西電力病院、大阪府済生会野江病院、京都大学



開院以来 90 年を越える歴史がある神戸市立医療センター中央市民病院は、神戸市の基幹病院として重要な役割を担い、救急医療、高度医療、感染症医療などの行政的医療・不採算医療を提供するとともに、災害拠点病院としての公的使命を果たしてきました。特に神戸医療圏における救命救急センターとして、24 時間 365 日、市民の安全・安心を守る最後の砦としての役割を果たしており、2018 年度評価で当院救命救急センターは全国で 1 番目に高い評価を受けています。また当院は、全国の自治体立病院の中でも有数の医療機能を駆使した高度医療の提供に努めております。神戸市立医療センター中央市民病院では整形外科のあらゆる疾患・外傷に対して対応できる体制を取っており、年間 1000 例以上の手術（2018 年実績 1602 例）を行っています。整形外科専門研修基幹施設における必須の研修領域である「脊椎・脊髄」、「上肢・手」、「下肢」、「外